

教会創立104周年

週 報

2026年8月16日 5407週

【今年度のテーマ・聖句】

神の愛によって生きるキリストのからだ
「見よ、兄弟たちが共に座っている。

なんと恵み、なんと喜び。」

(詩編133編1節)

巻頭言

牧師 加藤英治

北九州地方連合平和集会に出席して

先日八月十一日に、当教会で連合平和集会が開かれました。テーマは「平和実現のために神の国に生きる」、講師は茶屋明郎氏（日本基督教団若松教会牧師）でした。茶屋先生は、これまで教会の牧師の働きの際ら、一貫して人権・平和のための活動に関わって来られました。それに対しては、教会において、慎重・反対意見もあったようです。そうした中でも、先生が働きを続けて来られたのは、それが単に人間的な関心や同情からのものではなく、聖書においてイエス・キリストを通して宣べ伝えられた「神の国」への信仰と希望に基づくものであったからです。

イエス・キリストが宣べ伝えられたのは、「神の国の福音」でした。「神の国は近づいた。悔い改めて、福音を信ぜよ。」「神の国」とは、生ける神が関わり、主導権をもって導き支配する、愛と慈しみによる支配です。「国」とは言いますが、それは政治的なものではなく、一人一人が招かれ集められている共同体です。そこには、すべての人が招かれています。一人一人の尊厳が最大限重んじられ、それぞれが違っていても、共に尊重しながら生きていく共同体です。それは、今はつきりとは人間の目では見ることができませんが、来るべき終末に、神の御手によって必ず到来し、実現されるものです。

「神の国」への希望と並んで、茶屋先生を支えてきたものは、「創造信仰に生きる」ということでした。「皆生ける神に造られた存在、同じ人間」。だからこそ、その「神に造られた人間」のために仕え、働くことは、神を信じる者また教会がなすべき使命なのです。

私たちキリスト者、教会の使命は、「神の国に生きる」ことです。「イエスの出来事を通して、平和と愛の、創造主なる神が人間の歴史に介入し、支配し、すべての存在を創造され、見守り、支え、尊い存在として受け入れている『神の国』という共同体が現れ、実現していることを証し、生きていくこと」と言われるのです。その「神の国」の到来と実現は確実です。だから、「私たちには希望がある」のです。その希望を証し、表わして生きることが、「私たちキリスト者の貢献であり、責任であり、使命である」。

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax: 093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前10時30分

司会 林田佳代子執事
奏楽 田中由紀子姉

◎今月の聖句

「実に、キリストはわたしたちの平和であります。」

本日の集会

教会学校

幼小科

10:30～11:40

中高科、青年・成人科

9:30～10:15

主日礼拝の当番

受付：二木榮子 持田文重

お花：庄司まり子

聖歌隊練習・会堂掃除

11:50～12:05

召天者写真片付け 礼拝後

昼食 12:05～12:40

執事会 12:40～14:40

◎今週の集会(8月16日～8月22日)

<聖書>サムエル下 6:1～23

19日(水) 祈祷会Ⅰ 10:30

祈祷会Ⅱ 19:30

(司会・奨励 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

16日(日) サムエル上 24:1～16 二木榮子

17日(月) 詩編 51:18～19 船津丸泰

18日(火) ヤコブ 3:17～18 前田昭治郎

19日(水) ルカ 6:32～36 真角貞行

20日(木) アモス 5:21～24 真角汪美

21日(金) コヘレト 3:1～8 松田明枝

22日(土) イザヤ 57:15 満江香代子